



# Pure 純 No.176 Pacific パ Nov.2014

純パの会会報『純パ』第176号

2014年11月29日発行

発行：純パの会 〒161-0032 東京都新宿区中落合3-13-1 塚原方

## ◀ 当たり前前な事の難しさを実感

〜祝・福岡ソフトバンクホークスリーグ優勝&日本一!〜

岩河 正剛

◀ 当たり前前な事の難しさ  
今季のホークスの闘いを振り返った時、ぱっと浮かんだ言葉だ。

◀ 当たり前前な事の難しさ。一件矛盾した表現になるが、ホークスの優勝までの道程を表現すると、まさにこの言葉の通りだった。

シーズン前に超大型補強をした今季のホークス。ただでさえ他球団より戦力が優れているところに、この大補強。当然のごとくホークス優位は揺るがなくなつた。そのため順位予想ではホークス優勝が圧倒的。「これだけ選手が揃っているのだからホークスは盤石。よって優勝間違いなし!」このような世論の風潮が大部分になった。そして、それは同時にこの事を意味した。

「ホークスは強くて当たり前前」

「ホークスは勝って当たり前前」

「ホークスは優勝して当たり前前」

ホークスは、勝って優勝する事が当たり前前……この、当たり前前という事は、やって当然&出来て当然! という意味である。つまり、今季のホークスにとつては優勝するのが「当たり前前」の事。出来て当然の事」となってしまった。

確かにホークスはパ・リーグの中では強いチームであるが、全盛期の阪急ブレーブスや西武ライオンズのように飛びぬけて強いというわけではない。現

在のバ・リーグは実力伯仲しており、まさに群有割拠の時代。レギュラーシーズンで勝ち抜く事は容易ではない。こんな厳しい状況の中、ホークスは優勝する事が「当たり前前」の事。出来て当然の事」と見なされてしまったのだ。それは、逆を言えば、「優勝出来なければ世間から叩かれる(当たり前前)の事が出来なかったのだから」という事だ。こんな厳しい「当たり前前」があるだろうか!

シーズン中は常に相当なプレッシャーを受けていたと思う。そんな過酷な状況でも、常に首位争いで闘ってきた。だが、レギュラーシーズンもCSも優勝は最終戦までもつれた。本当に苦しんだ。とことん苦しんで、最終戦によりやく栄冠を手にする事が出来た。当たり前前の事は本当に難しかった。

現在のバ・リーグはまさしく戦国時代そのものである。しかし、世間ではこの結果(優勝)は至極当然と思っている人たちもいるだろう。だが、パ・リーグを本当に良く理解している人ならば、そのような事は簡単に思わないと思う。セ・リーグより明らかにレベルの高いバ・リーグで「当たり前前」の事を行うのがいかに難しいか。それを十分に実感した、今季のホークスの優勝だった。

極めて難しい「当たり前前」を成し遂げたホークス。心から敬意を表したい。

おめでとー! 福岡ソフトバンクホークス!!